

物語文を読んでえらぼう

小5／物語を読んで、人物の気持ちや理由を1つえらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

1 かくれんぼを よんで、顔を出したあとの美咲の気持ちを1つえらびましょう。

かくれんぼで、美咲は 物置の うらに かくれた。おにの 足音が 何度も 近づいては 遠ざかり、やがて だれも 来なくなった。夕方の チャイムが 鳴った とき、美咲が そっと 顔を 出すと、みんなは すな場で 別の 遊びをして いた。美咲は くすっと 笑って、小さく つぶやいた。「最後まで、見つからなかった」

1 自分をさがさなかったみんなに、はらが立っている。

2 長い間かくれていたなので、早く家に帰りたくなった。

3 見つからなかったのが、ひそかにほこらしい。

4 自分をわすれて遊ぶみんなを見て、さびしくなった。

2 通学路を よんで、健太がパン屋の前で立ち止まるのはなぜですか。1つえらびましょう。

健太は 毎朝、通学路の とちゅうにある パン屋の 前で 立ち止まる。やきたての パンの においが ただよって くるが、健太は 店の中には 目も くれず、しゃがんで 入り口の 大きな 水がめを のぞきこむ。中では、カメが 一ぴき、首を のばして 健太を 見上げている。

1 店にならぶ新しいパンを、たしかめたかったから。

2 やきたてのパンのにおいを、かぎたかったから。

3 店の前で、友だちと待ち合わせをしているから。

4 入り口の水がめにいるカメを、見たかったから。

3 最後の一問を よんで、そのときのあかりの様子を1つえらびましょう。

テストの 残り 時間が わずかに なった。最後の 一問が わからず、あかりの 手が 止まる。あきらめかけた そのとき、朝 読んだ 本の 一節が ふと 頭に うかんだ。あかりはいそいで えんぴつを 走らせた。

1 あきらめかけたが、朝友だちに聞いた話を思い出して書き始めた。

2 あきらめかけたが、本の一節を手がかりに答えを書き始めた。

3 あきらめかけたが、先生の言葉を思い出して答えを書き始めた。

4 あきらめかけたが、前の問題を見直して答えを書き始めた。

物語文を読んでえらぼう【こたえ】

小5／物語を読んで、人物の気持ちや理由を1つえらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

答えと、たしかめるところ

1 答え：3

別の遊びをしているみんなを見ても『くすっと笑って』、『最後まで、見つからなかった』とつぶやきました。さびしさ・いかり・帰りたい気持ちは書かれていません。

2 答え：4

健太は『店の中には目もくれず』、しゃがんで水がめをのぞきこみます。中にはカメがいます。においや店のパン、待ち合わせのことではありません。

3 答え：2

あきらめかけたとき『朝読んだ本の一節がふと頭にうかんだ』ので、いそいでえんぴつを走らせました。

読み取るコツ

気持ちの変化は、前と後の様子をくらべます。行動や体のようす（息・口もと・目）に注目します。